

定期発行物「安全安心社会研究」



2011年3月創刊。

ISSN : 2186 - 5582

安全安心社会研究センターの活動とその成果を内外に紹介するとともに安全安心社会に関する学内、学外の研究者間での研究成果や情報共有を図るプラットフォームとしての役割を果たすことを意図して発行。

【創刊号】2011年3月発行

第3号(2013年3月発行): 特集「東京電力福島原子力発電所事故」と「教育、学校と安全」の二つに加え、鉄道の安全管理、自然災害への対応など、社会的な関心の高いテーマを取り上げました。また、やや論理的な古典再読、海外書紹介。そして、様々な業種の第一線で活躍している本学システム安全専攻修了者の投稿、本センター客員研究員の活動報告など、幅広い読者を対象として編集しています。

【目次】

巻頭言

特集1: 東京電力福島原子力発電所事故

技術の検証と伝承の視点、システム安全の視点から、原発事故の根源的な原因は地震による揺れだったのか津波だったのか

特集2: 教育、学校と安全

柔道事故で犠牲となる子ども達、いじめー「いじめ」に関わる法的諸問題ー、高専ロボコンにおける参加者側の安全対策と保証、子供の安全(プール事故)

鉄道システムにおけるリスクベース安全管理

竜巻災害の研究

古典を読む: ダンツィグ著

「洪水予防の経済的意志決定問題」

海外書籍紹介: ダグラス・W・ハバード著

「リスク・マネジメントの失敗ーなぜ破たんしているのか、そしてどうやって修復するのか」

システム安全専攻OB投稿, 博士論文紹介: 5編

客員研究員活動報告: 6編

センター活動報告



長岡技術科学大学
Nagaoka University of Technology

Research Center for Safe and Secure Society
安全安心社会研究センター



トップ メンバー 研究論文 記事

ABOUT US

- 設立の趣旨
- 長期的事業
- 予定事業

MEMBER

- 専門職大学院専任教員
- 専門職大学院兼任教員
- 非常勤教員
- 特任講師
- 客員研究員

研究論文・記事

- 記事
- 連載「安全と健康」

最近の投稿

- 平成24年度 長岡技術科学大学・明治大学共催システム安全特別講演会
- 長岡技術科学大学専門職大学院「システム安全専攻」特別講演会A説明会のご案内
- 第10年度2013「働く人の安心づくりフォーラム」in TOYAMA
- 放射線と原子力工学を市民講座〜小千谷市民館成人講座へのご案内
- 長岡技術科学大学安全安心社会研究センター特別講演会

この分野

- デザイン

平成24年度 長岡技術科学大学・明治大学共催システム安全特別講演会

大勢の参加ありがとうございました。(12/25)

日時: 平成24年12月23日(日・天皇誕生日) 14:00~18:00
場所: 東京国際フォーラム G510室
主催: 長岡技術科学大学安全安心社会研究センター
明治大学大学院新領域創造専攻安全学系
協力: 長岡技術科学大学システム安全同窓会

【プログラム】
13:45 受付

司会 安全安心社会研究センター長 三上喜貴

14:00 開会の挨拶 明治大学新領域創造専攻 杉本旭 教授

14:10 講演1「労働安全行政の動向」
講師: 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 半田有通 様

15:20 講演2「最近の製品安全政策について」
講師: 経済産業省 商務情報政策局 商務流通保安グループ 製品安全課長 矢島敬雅 様

16:20 休憩

16:30 講演3「安全の思想について」
講師: 明治大学新領域創造専攻 向殿政男教授

18:00 閉会

懇親会 (参加費:4,000円 当日徴収させていただきます)

安全安心社会研究センターホームページ

安全安心社会構築のための様々なテーマを取り上げた講演会案内などの情報をご覧ください。

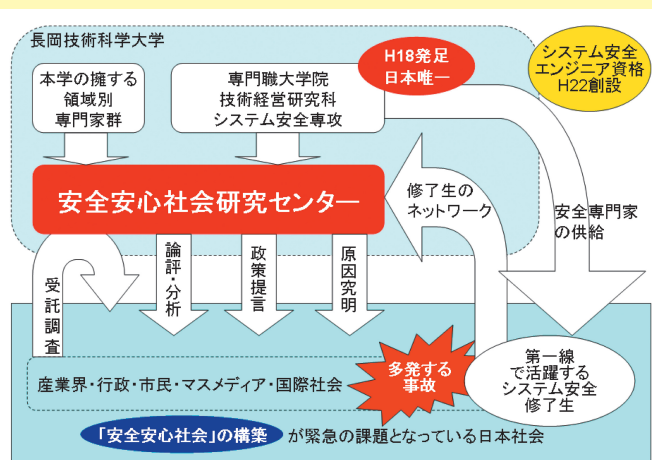
その他、メンバー紹介や学内外のスタッフ・有識者からの記事や論文を掲載。今後更に、論評・分析・政策提言等の情報を提供できるよう内容を充実させていく予定です。

長岡技術科学大学 安全安心社会研究センター
〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1
Tel:0258-47-9754(直)
<http://safety.nagaokaut.ac.jp/~safety/>

安全安心社会研究センターについて

長岡技術科学大学は、2006 年 4 月、専門職大学院として、技術経営研究科システム安全専攻を創設しました。同専攻は、国際的なシステム安全の諸原則に基づく専門家育成プログラムとして、日本で初めて、かつ唯一の存在であり、また、2008 年 3 月には教育プログラムが完成年度を迎え、システム安全専門家の第一世代を社会に輩出することになりました。この機をとらえ、システム安全の専門家集団としての教員団の知見と社会の第一線で活躍する修了生を中心とする人的ネットワークを生かして、製品や施設で発生する事故や安全管理に関する第三者専門家の立場からのタイムリーな論評・分析、安全安心社会構築のための政策提言等の情報発信を行うとともに、幅広い調査研究を行う組織として、2008 年 4 月 1 日に、「安全安心社会研究センター」を設置しました。具体的事業として、以下の事業を行うこととしています。

- (1) 事故に関する調査分析とその結果の公表
- (2) 安全安心社会の構築のための調査研究事業
- (3) 安全安心社会の構築のための啓発、社会人教育事業
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な業務



長岡技術科学大学における安全安心社会の構築に向けた取り組みの歩み

年	本学の動き	社会全体の動き
2001 (H13)	機械安全工学寄附講座	3 月 平成 13 - 17 年度科学技術基本計画の理念として「安心・安全で質の高い生活のできる国」 5 月 厚生労働省より「機械の包括的な安全基準に関する指針」
2002 (H14)	4 月 大学院機械創造工学専攻に「機械安全コース」	
2003 (H15)		5 月 専門職大学院設置基準 機械安全の基本国際規格 ISO12100（機械類の安全性－設計のための基本概念、一般原則）発行 食品安全基本法公布（7 月施行）
2004 (H16)	3 月 機械安全コース第一期生修了	4 月 文科省 安全・安心な社会の構築に資する科学技術政策に関する懇談会報告書 7 月 新潟・福島豪雨 10 月 新潟県中越地震 12 月 ISO12100 に基づき JIS B 9700 制定
2005 (H17)		安衛法改正、リスク評価義務化（翌 4 月施行）
2006 (H18)	1 月 中越地震調査報告会 4 月 専門職大学院「システム安全専攻」創設	技術経営関係専門職大学院 10 校により MOT 協議会発足 消費生活用製品安全法改正
2007 (H19)	10 月 新潟中越沖地震震災復興シンポジウム	5 月 重大事故報告制度運用開始 7 月 新潟県中越沖地震
2008 (H20)	4 月 安全安心社会研究センター発足 4 月 博士後期課程情報・制御工学専攻に「安全工学コース」 7 月 新潟中越沖地震一周年震災復興シンポジウム	
2009 (H21)	9 月 本センターに客員研究員制度	9 月 消費者被害を防ぐため、食品や製品の事故、クレームなどの情報を一元化した消費者庁発足
2010 (H22)	3 月 システム安全エンジニア認定委員会（向殿征男委員長）との協力により「システム安全エンジニア資格制度」を創設、第一回試験を実施	
2011 (H23)	3 月 「安全安心社会研究」創刊	3 月 東日本太平洋沖地震、東京電力福島第一原発で事故発生 7 月 新潟・福島豪雨 8 月 放射性物質汚染対処特措法
2012 (H24)	3 月 「安全安心社会研究」第 2 号発行 3 月 小千谷市と原子力安全対策支援パートナー協定締結 4 月 大学院修士課程に「原子力システム安全工学専攻」	7 月 九州北部豪雨 9 月 原子力規制委員会発足 12 月 中央自動車道トンネル天井崩落事故
2013 (H25)	3 月 「安全安心社会研究」第 3 号発行	